

No. 11-2

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 11 - 2

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		9		作成日		28年 5月 23日	
事務事業名		シニアクラブ補助事業						シート作成部署			
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち						課名	長寿福祉課	係名	高齢福祉係
		2-2 支えあいを実感できるまちをつくる						シート作成者			
	施策	2-2-3 高齢者福祉の推進						予算費目	会計	一般	
		⑤ 生きがいくりと社会参加の促進							款	3	
主要施策							項		1		
							目		2		
個別計画名		高齢者福祉計画									
		介護保険事業計画									
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）									
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）						
	シニアクラブ会員				明るい長寿社会の実現と高齢福祉の向上に寄与し、その活動及び事業の育成を図る。						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		活動内容は地域の高齢者が協力しながら、ゲートボール大会やグラウンドゴルフ・パークゴルフ大会の開催、親睦活動や高齢者の持つ知識や技能を生かし、友愛活動や環境美化活動、高齢者相互支援などの社会奉仕を実施している。このような活動に対して、町からも助成し活動を支援している。									
事業期間		昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 42年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし									
根拠法令・要綱等		東員町福祉部に関わる補助金等交付要綱									
		平成26年度（決算）		平成27年度（決算）		平成28年度（予算）					
全体事業費（千円）A+B		3,376		3,383		3,576					
財源内訳	国庫支出金	0		0		0					
	県支出金	285		338		409					
	地方債	0		0		0					
	その他特定財源	0		0		0					
	一般財源	2,563		2,517		2,639					
直接事業費（千円）A		2,848		2,855		3,048					
人件費（千円）B		528		528		528					
内訳	一般職員（人・千円）	0.08 人	528	0.08 人	528	0.08 人	528				
	臨時職員（人・千円）	人	0	人	0	人	0				
成果指標	成果指標名			単位	27年度		28年度	29年度			
					目標	実績	（目標）	（目標）			
	①	シニアクラブ会員数		人	2,450	2,353	2,500	2,550			
	②										
③											
説明	60歳以上の高齢者におけるシニアクラブ会員数を指標とする。										

事業名	シニアクラブ補助事業	シート作成課	長寿福祉課
-----	------------	--------	-------

一次評価者	長寿福祉課長	二次評価者	福祉部長
-------	--------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	一次	二次			
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	高齢者が社会との接点を持ち、孤独感や不安の解消、新しい生きがいの発見につながる機会としてシニアクラブ活動の果たす役割りは重要です。	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	高齢者の方が増加する中、高齢者の孤独感や不安の解消、新しい生きがいの発見につながる機会の提供が必要です。	
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	シニアクラブ連合会を核とし、それぞれの自治会主体の単位クラブで活動を行っています。 笹尾・城山地区では加入率が低く、1自治会1シニアクラブ設置を目標とされており設置に向け支援していきます。	
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	現在14の単位シニアクラブが町内にあり、それぞれの代表が集まり、シニアクラブ連合会を構成し活動の充実を図っています。	

本事務事業の実施適切性の説明

シニアクラブ連合会及び自治会主体の14の単位クラブで構成されており、会の活動を通じて生きがいを持った仲間作り・地域福祉の向上等が期待できます。今後も、介護予防・生きがい機会の提供等を行っていく必要があります。
 笹尾・城山地区では加入率が低く、高齢化が一気に進展する見込みとなっていることから、重点的に加入促進を行い、1自治会1シニアクラブ設置を目標とされており設置に向け支援していきます。

一次評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	評価	4	4	3	4	B
今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
今後の改革・改善目標	高齢社会が進展し、介護給付費、医療費の増加が見込まれる中、高齢者が自ら活動することによって、健康で元気に過ごせるよう活動の場を提供していく必要があります。 シニアクラブ連合会の業務計画において、加入率の増加や全自治会にシニアクラブを設置することなどを目標とされており、今後、活動促進が図られるよう支援します。					

二次評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	評価	4	4	2	4	B
今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
コメント	高齢者の生きがい対策や介護予防につなげていくため、事業に積極的に取り組む自主的な活動を応援していく必要があります。					

二次評価に対する課の考え方						
---------------	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する	
------------	------	----	------	---	------------	--